2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて 気候市民会議を踏まえた取り組みを推進します

世界各地で気候変動が増大し、地球温暖化が深刻化する中、武蔵野市においても今まで以上に、市・市民・事業者が地球温暖化の問題を当事者として強く認識し、一丸となって取り組む必要があります。

市では、市民が地球温暖化対策について主体的に議論する場として、令和4年7月から気候市民会議を開催し、無作為抽出などにより選ばれた市民の方々に5回にわたり活発な議論を重ねていただきました。

気候市民会議での議論や意見などを踏まえ、脱炭素社会の実現に向けてさまざまな取り 組みを実施します。

気候市民会議



無作為抽出などにより選ばれた市 民68人により、一人ひとりが取り 組むべき地球温暖化対策の行動 等について話し合いを実施

討議内容やアンケート結果から市民の考え(傾向)を分析

市民の意見を参考に市の施策に反映

気候危機打開武蔵野市民活動プラン (仮称)の作成

市民一人ひとりが目指すべき地球温暖化対策の行動指針となるもので、市民の行動変容につなげていく。

- ・むさしのゼロカーボン大賞事業(仮称)
- ・家庭向け再エネ電気切替協力金支給事業
- ・マンション管理組合への断熱窓改修費助成

など

■新規事業

(1) 気候危機打開武蔵野市民活動プラン(仮称)の作成 予算額 839万円7千円 気候市民会議での議論を踏まえて、さらに市民の地球温暖化対策への理解を深 め、市民一人ひとりの取り組みにつなげていけるように、行動指針となる気候危

め、市民一人ひとりの取り組みにつなけていけるように、行動指針となる気候危機打開武蔵野市民活動プラン (仮称) を作成するとともに、具体的対策を例示したブックレットなどを作成し、全戸に配布します。

(2) むさしのゼロカーボン大賞事業(仮称)

予算額 50万円

気候市民会議を契機に市民の取り組みに対する機運を高め、活動の輪を広げていくため、市民の優れた取り組みを表彰し、SNSなどにより紹介します。

(3) 家庭向け再エネ電気切替協力金支給事業

予算額 413万4千円

気候市民会議の意見を参考に、市民の取り組みを後押しし、市域における再エネ電気の切り替えを促進するため、実質再エネ100%電気に切り替えた家庭に対し、協力金を支給する事業を開始します。

■問い合わせ 環境部環境政策課 0422-60-1841